



令和7年3月7日 中緑小学校 保健室



3月になり、学校の梅やスイセン、花壇の花々がさきはじめましたが、まだまだ寒い日が続いていますね。春の訪れが待ち遠しく感じます。

6日には、お別れ遠足がありました。お天気にも恵まれ楽しい時間を過ごすことができました。その中で、6年生5名の大きなさくらの木が、一人ひとり心のこもった言葉の花びらで咲きほこりました。とても感動した一日となりました。

この学年が終わるまで、もう少し時間があります。たくさんの思い出を作してほしいと思っています。



- ① 「み(3)み(3)」というごろあわせ
- ② ヘレン・ケラーにアン・サリバン先生が「指文字」「しつけ」「ことば」などの指導を始めた日
- ③ 電話の発明者アレクサンダーグラハムベルの誕生日

耳の健康を考えるきっかけとなる耳の日。耳を大切にしてください。

耳の

健康チェック!!

- 耳なりがする
- 聞こえが悪い
- 耳が痛い



心あたりがある人は、耳鼻科医院でみてもらいましょう。



「ありがとう」を伝えるワザ

「ありがとう」を言葉にして伝えるのは、照れくさいし、タイミングも必要だし、なかなか難しいものですね。そんなときは、いろいろな方法で「ありがとう」を形にしましょう。たとえば、付箋に一言メッセージを書いてみては？ ノートや小物を借りたお礼、お弁当箱などに貼ると、感謝の気持ちはちゃんと伝わるはず。笑顔もおすすめ。笑顔は万能ですから！「あなたのおかげで助かったよ」「元気がなれたよ」という素直な気持ちが伝わるでしょう。

やくぶつらんようぼうしきょうしつ おこな
薬物乱用防止教室を行いました。

がつ にち きん みなみけいさつしよせいかつあんぜんか
2月28日(金) 南警察署生活安全課スクールサポーター
なりたみつるさま わか ねんせいたいしやう やくぶつらんようぼうしきょうしつ
成田 満様をお迎えし、5・6年生対象に薬物乱用防止教室を
かいさい
開催しました。



お話をDVD「薬物乱用はダメ・ぜったいに」を見ながら、薬物により体や心だけでなく将来まで影響してくる。薬物乱用すると、薬物依存となり脳の正常が保たれなく、人間関係もこわれていくことやスマホの使い方など具体的なお話がありました。最後に、

- ① 危険性をしっかり知ること。② 誘われたらきっぱり断る。③ 薬物を乱用しない。
④ 薬物依存を治す薬はないこともおさえていただきました。児童たちはしっかりお話をきいていました。

じどう かんそう すこ しやうかい しめん つごうじやう
児童の感想を少し紹介します。(紙面の都合上)



やくぶつ い ぐち たいま し
薬物の入り口が大麻だと知れてよかったです。中学生でも薬物を使用していると聞いてびっくりしました。もし薬物をすすめられても注意したり、やめなと言いたいと思います。

やくぶつ すこ だいじやうぶ おち らんやう
薬物は「少しぐらい大丈夫」だと思って乱用してしまうとすぐに依存し、くり返し使ってしまうと自分だけでなく、周りの人にも害があることがわかりました。大麻が身近な存在であることも知りました。

じぶん かんけい こと おち
自分には関係のない事だと思っていても、簡単にとれるものだと気づいてだまされたり、さわれても薬物には手を出さないよう気をつけたい。

わたし いちばん たいま かんたん
私が一番びっくりしたのは、大麻が簡単に入手できることです。薬物依存になると、だれかが一日中ついていないといけなないので、やめるのはとても難しいと思いました

やくぶつ まな
薬物のおそろしさをしっかり学びました。やめたくても脳がやめさせないことにびっくりしました。

わたし やくぶつ かく ざい
私は薬物といわれると覚せい剤などを想像していましたが、ほかにも大麻やMDMAなどいろいろあることを初めて知りました。薬物を使用すると、幻覚などのしょうじやうをひきおこしてしまうこともまなびました。



きっぱり 断る 勇気、ダメだよと注意がだいじですね。